

## 環境調査結果のお知らせ

平成22年7月22日  
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年7月22日午前9時から、浦ノ内湾の環境調査をしましたので結果をお知らせします。

## 概況

有害種のシャトネラ類及びカレニア・ミキモイが数十～数百cells/mlレベルで増殖しており、大鹿から湾奥側で着色域が広がっていましたが、前回調査(平成22年7月20日)と比べると着色は薄くなっていました。水温及び塩分は前回調査と同等でした。溶存酸素濃度もほとんど変化がなく、表層が過飽和、底層が貧酸素の状態が続いていました。

## 水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は23.82～30.65℃で、表層水温は30℃を超えていました。また、表層水温は底層よりも6℃以上高くなっていました。塩分は23.07～31.30で、表層から底層にかけて鉛直勾配が顕著で、湾内には安定した密度成層が形成されていました。

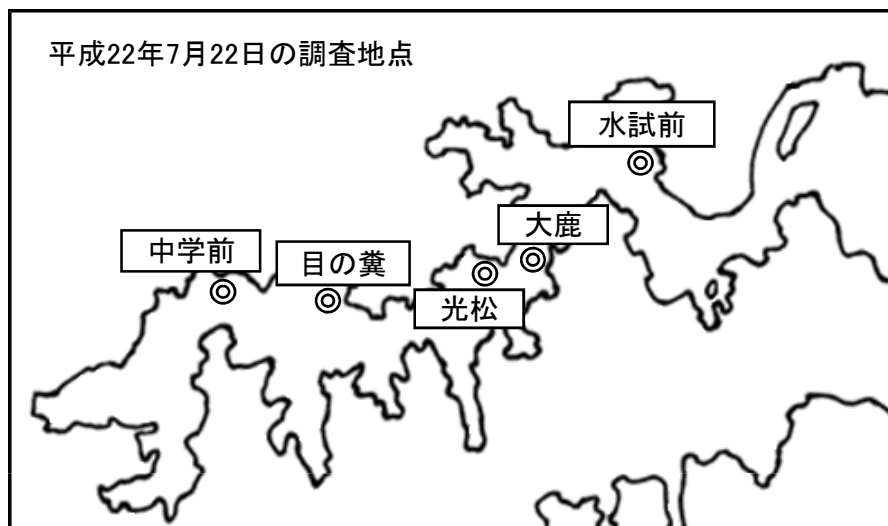
## 溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は0.12～12.12mg/lでした。湾内は赤潮状態が続いており、表層の酸素濃度は過飽和となっていました(10.21～12.12mg/l)、底層は貧酸素化が進行しており(水試前を除く)、0.12～0.27mg/lになっていました。養殖漁場周辺での溶存酸素濃度は、2m層では6～10mg/l程度ありましたが、5m層及び10m層では2～4mg/lの低酸素状態になっていました。湾口に近い水試前では、5m層で6.36mg/l、底層で6.71mg/lでした。

## プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は2.2～3.5mでした。養殖漁場周辺で有害種のシャトネラ類及びカレニア・ミキモイが増殖しており、透明度は2.2～2.5mでした。シャトネラ類の最大出現細胞数は光松の628cells/ml、カレニア・ミキモイの最大出現細胞数は目の糞の188cells/mlでした。シャトネラ類及びカレニア・ミキモイは前回調査時の半分程度まで減少していましたが、本種は風や潮の流れによって集積し、急激に密度が濃くなる可能性があります。また、昼夜で分布水深が変わるため、表層のプランクトン密度が低くてもその下で増殖していることもありますので、今後の動向には十分注意し、慎重な養殖管理を続けてください。

湾全体で有害種のシャトネラ類及びカレニア・ミキモイが増殖していますので、養殖管理に注意してください。海の状態や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	漁場平均 ※	前回調査(H22.7.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	30.31	29.99	30.36	30.65	30.08	<b>30.33</b>	30.29	0.05
2m	27.08	26.27	26.51	25.82	26.83	<b>26.20</b>	26.38	▲ 0.18
5m	25.02	25.01	25.15	25.23	25.91	<b>25.13</b>	24.99	0.14
10m	24.60	24.53	24.77	25.09	-	<b>24.80</b>	24.55	0.24
B-1m	24.53	23.82	23.83	23.83	26.07	<b>23.83</b>	23.86	▲ 0.03

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	漁場平均 ※	前回調査(H22.7.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	23.99	23.07	23.94	24.61	24.31	<b>23.87</b>	22.33	1.55
2m	28.36	28.53	28.33	28.71	28.51	<b>28.52</b>	27.96	0.57
5m	29.38	29.41	29.60	29.69	29.99	<b>29.57</b>	29.23	0.34
10m	30.01	30.33	30.71	30.74	-	<b>30.59</b>	30.28	0.32
B-1m	30.21	31.27	31.30	31.30	30.75	<b>31.29</b>	31.35	▲ 0.06

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前	漁場平均 ※	前回調査(H22.7.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.97	10.21	10.86	11.02	12.12	<b>10.70</b>	11.22	▲ 0.53
2m	7.72	9.14	9.89	6.21	10.81	<b>8.41</b>	9.63	▲ 1.22
5m	1.25	2.60	3.87	4.12	6.36	<b>3.53</b>	3.93	▲ 0.40
10m	0.25	1.56	3.00	3.97	-	<b>2.84</b>	2.73	0.11
B-1m	0.12	0.20	0.27	0.27	6.71	<b>0.25</b>	0.27	▲ 0.02

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	大鹿	水試前
水深	11.7	15.0	16.6	16.7	9.2
透明度	2.3	2.3	2.5	2.2	3.5
前回透明度	2.5	2.0	1.2	1.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		シャトネラ・マリナ シャトネラ・アンティカ	カレニア・ ミキモトイ	ディクテオカ・ フィブラ	プロトベリディニウム 属	ジャイロディニウム・ ドミナンス
中学前	0m	0	0	0	38	10
	2m	26	94	2	22	8
	5m	178	82	64	4	16
目の糞	0m	0	0	0	30	8
	2m	480	46	80	42	18
	5m	337	188	60	4	8
光松	0m	12	2	0	26	8
	2m	628	84	86	2	6
	5m	372	92	28	2	4
大鹿	0m	36	2	0	6	16
	2m	420	140	0	6	8
	5m	198	96	0	28	18
水試前	0m	22	0	0	10	18
	2m	64	32	0	2	12
	5m	92	144	0	12	6